

まちかど

アルバム

はくと 白兎に新名所 誕生！



白兎神社

「因幡いなばの白うさぎ伝説」と、白く美しい砂浜で知られる白兎海岸。そのかたわらにある白兎神社の入り口に、伝説に登場する大国主命おおくにぬしのみことと八上姫やがみひめ、そして白うさぎをモチーフにした砂像が制作され、8月5日（水）、完成披露式が行われました。お披露目が終わると、早速近づいて興味深そうに眺める観光客も。新たな名所となりそうです。白兎観光協会の三橋英雄みはしひでお会長は「砂像が崩れないよう大切に管理するので、多くの人に見に来ていただきたい」と話していました。

ゴーヤで緑のカーテン

佐治町総合支所

佐治町総合支所で、昨年から支所南側の窓一面に育てているゴーヤ。この夏も、昨年採れた種から育てたゴーヤが、一面に生い茂りました。この「緑のカーテン」は、日差しを遮って室温を下げるほか、果実は食用となり、職員の夏バテ解消にも一役買っています。うわさを聞きつけた地元の人が、おすそわけをもらいに来るようになり、思わぬ住民サービスの向上につながっているようです。



民俗行事「かまやき」

河原歴史民俗資料館

7月17日（金）、河原歴史民俗資料館で、地元住民や河原幼稚園園児など約70人が参加して、民俗行事「かまやき」が行われました。これは、旧暦の6月15日に釜焼きを作って神仏に供え、農作業で疲れた体を休めるという風習を、今に伝える行事です。釜焼きは、杵きねと臼うすでついた餅に、小豆やそら豆のあんを入れてミョウガの葉で包み、釜で焼くというもの。参加者は、出来上がった釜焼きをみんなで試食して、伝統の味と香りを楽しみました。

新しい船屋台をお披露目

気高町浜村

8月1日（土）、気高町の浜村観光道路で「貝がら節祭り」が行われ、祭りのシンボルとなる新しい船屋台が披露されました。この屋台は、歌手の成世昌平なるせしやうへいさんが鳥取市に寄付した資金を元に制作したもので、全長8尺、高さ1.3尺、重さ1.5ト。浜村保育園の園児らに引かれて登場すると、観客からは大きな歓声が上がっていました。



「海賊船」で湖山池を探検



湖山池

湖山池に浮かぶ青島を「ひょうたん島」に見立て、キャンプや宝探しなどさまざまなイベントを展開した「びっくりひょうたん島」。8月1日（土）には、海賊船を模した全長約9mの船で、湖山池に浮かぶ5つの島を周遊するクルージングが行われました。参加した親子連れらは、湖山池の成り立ちや生息する鳥などについて船長から説明を受けながら、船からの眺めを楽しみました。

ユニバーサルデザインを学ぶ

用瀬町民会館

7月31日（金）、用瀬町民会館で、用瀬町文化センター主催の人権問題講演会が開催されました。参加者らは、すべての人が等しく利用できるようにと考案されたユニバーサルデザインについての講演を聞いた後、グループに分かれて討議。日常生活にあるユニバーサルデザインを探したり、誰でも使えるように工夫された文房具を使用したりして、思いやりの心が大切であることを学びました。



お気に入りのペン立てが完成

福部町中央公民館

7月25日（土）、福部町中央公民館で、小学生とその保護者を対象にした木工教室が開催されました。この日制作したのは、梨の間伐材を使った定規とペン立て。参加者らは、町内の木工家、数田道男さんに工具の使い方を教わりながら、ペンを立てるための穴を慎重に開けました。そして、サンドペーパーで木の表面を磨くと、つるつるのペン立てが完成。子どもたちは大喜びでした。

雑草のない美しい砂丘を

鳥取砂丘

8月1日（土）、鳥取砂丘でボランティアによる除草作業が行われました。これは、近年雑草が繁茂し、風紋などができにくくなっている鳥取砂丘をかつての姿



に戻そうと、平成16年から始まった取り組みで、今年で6年目。毎年、夏場の金・土・日曜日の早朝に行われています。この日は、約550人の市民らが参加して、追後スリバチ周辺を丁寧^{おいこ}に除草しました。参加者のみなさん、おつかれさまでした。

じげの川で遊ぼう

鹿野町小鷲河地区^{こわしがわ}



8月2日（日）、まちづくり協議会「小鷲河ふる里をまもる会」^{いげはらのろし}（池原 宏 会長）と小鷲河地区公民館との共催事業「じげの川で遊ぼう」が開催されました。この日は、河内川に堰を造ってヤマメのつかみ取りを行う予定でしたが、雨天の影響により増水していたため会場を旧小鷲河小学校プールに変更。子どもたちは、兄弟や友達と協力しながら、熱心にヤマメを追いかけました。公民館長の遠藤眞文^{えんどうまさみ}さんは「じげの川を大切にする心を持って育ててほしい」と話していました。